

令和5年度「志」特別選抜 入試問題『出題の意図・評価ポイント』

文系 模擬講義・レポート

- ※1 この『出題の意図・評価ポイント』についての質問、照会には一切回答しません。
- ※2 配点率は入試問題に記載してあります。

【出題の意図・評価ポイント】

大学で講義を受ける状況を想定し、その講義を受け身で聞き流すのではなく、積極的に理解し、発展的な学修をする基本的資質をはかることを目的とする。

具体的には、講義の内容を正確に聴き取り、メモを取る力とその内容の理解度を測る。また、講義を受けることで浮かんでくるであろう発展的な「問い」に関連する複合的な資料を読み、分析・統合・応用等を行う思考力、そして決められた字数の中で、的確に表現する力を評価する。

問1

講義の中で重要な情報を的確にメモをする力を測る。

問2

講義中の内容と資料1のSDGsの具体的課題とを関連させて、その課題解決にイノベーションがどのように活用できるかを考察する問題。資料を基に考察する力、及び制限字数内での的確に説明する表現力を測る。

問3

講義中の内容と資料2を参考にして、「SPA」の特徴について、具体的に説明する問題。講義内容と資料を関連させて考える力、及び制限字数内での的確に説明する表現力を測る。

問4

講義で取り上げた「グーグルの20%ルール」について、さらに詳しく述べた英文の資料を提示し、その英文の理解度と日本語で説明する表現力を測る。

問5

講義内容と3つの資料を関連させて、「破壊的イノベーション」の特徴を説明する問題。資料からの的確に情報を読み取り、それぞれを論理的に関連させて、考える力や制限字数内での的確に説明する表現力を測る。

令和5年度「志」特別選抜 入試問題『出題の意図・評価ポイント』

文系 総合問題 I

- ※1 この『出題の意図・評価ポイント』についての質問、照会には一切回答しません。
- ※2 配点率は入試問題に記載してあります。

【出題の意図・評価ポイント】

問題1の課題は、「親ガチャという言葉から格差社会を知る」というテーマに関連した、評論文や新聞記事からなる3編の日本語とデータ、図式で構成され、それぞれを関連させて理解を深める形式になっている。それぞれの資料の内容に対する読解力、および3編の日本語とデータや図式の内容を融合した問題に対する思考力、制限字数内でまとめる表現力等を測る。

問題2, 3, 4は数学の内容の出題で、標準的な問題の出題により基礎事項の理解度を測り、正しく論証や計算を行う力を測ることを意図した。

1

問1・2 標準的な語彙や漢字の知識を試すとともに、文脈の理解度を測る。

問3 資料1の主旨を理解し、語句の意味を説明する力を測る。

問4 資料2・3の内容を理解し、図式の中にまとめる力を測る。

問5 資料3の主旨を理解し、的確に説明する問題。読解力及び表現力を測る。

問6 資料4の主旨を理解し下線部(1)を、的確に説明する問題。読解力及び表現力を測る。

問7 資料3・4の論旨を踏まえ、データ1につけたすべきデータを考える問題。読解力、論理性、発想力および表現力を測る。

問8 空欄に適切な語句を入れる問題。文脈の理解、語彙力を測る。

2

2次関数と積分法の基本事項についての理解度と計算力を測る。

3

ベクトルの性質の基本事項についての理解度と計算力を測る。

4

整数の性質の基本事項についての理解度を測る。また、証明を通して論証を行う力を測る。

令和5年度「志」特別選抜 入試問題『出題の意図・評価ポイント』

文系 総合問題Ⅱ

- ※1 この「出題の意図・評価のポイント」についての質問、照会には一切回答しません。
- ※2 配点率は入試問題に記載してあります。

なお、本学入学者選抜のための試験ごとの配点については、令和5年度神戸大学「志」特別選抜学生募集要項を参照してください。

【出題の意図・評価ポイント】

問題は大問 4題で構成し、英文理解力、思考力、および表現力等を問うことを意図した。

1 問題文は、クラスメートが炭素排出に関する意識を高められるよう、中学生が行った炭素排出に関するプレゼン発表についての英文である。炭素排出を減らす行動に関する質問調査の結果も示された。

- 問1 英文理解力、および日本語表現力を測る。
- 問2 データ理解力と英語表現力を測る。
- 問3 英文理解力、思考力、および英語表現力を測る。

2 問題文は、コロナウイルスによって生じた格差に関する英文である。

- 問1 英文理解力、および日本語表現力を測る。
- 問2 データ理解力と英語表現力を測る。
- 問3 思考力と日本語表現力を測る。
- 問4 思考力と英語表現力を測る。

3 問題文の英文は、国際問題になっている人身売買被害者の実話である。

- 問1 英文理解力、および思考力を測る。
- 問2 英文理解力、および日本語表現力を測る。
- 問3 英文理解力、思考力、および英語表現力を測る。

4 問題文は、ナッジ理論に関する英文である。

- 問1 英文理解力、および日本語表現力を測る。
- 問2 英文理解力、および日本語表現力を測る。
- 問3 英文理解力、思考力、および英語表現力を測る。
- 問4 英文理解力、思考力、および英語表現力を測る。